

☆パンジー（赤・青・黄・白）

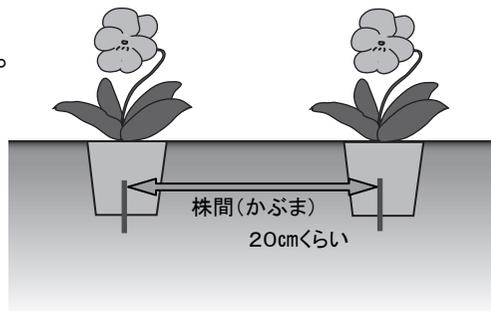
- ・ スミレ科スミレ属
- ・ 原産地 西ヨーロッパ
- ・ 多年草(耐寒性一年草)
夏越しが困難なので秋まき一年草として扱われています
- ・ 寒さに対しては強いが、暑さには弱い
- ・ 日光を好む
- ・ パンジーは日の長さに感応して花を咲かせる性質(長日植物)で、日の短い冬になると、再び日が長くなる春が来るまで花を咲かせず一休みしますが、最近では品種改良されて冬から咲くタイプも。
- ・ 「パンジー」という名前はパンセ(考える)というフランス語から

☆植え付けについて

苗を持ち帰ったら 早めに植えましょう。

植えつける前日、花壇・苗ともにたっぷり水を与えます。

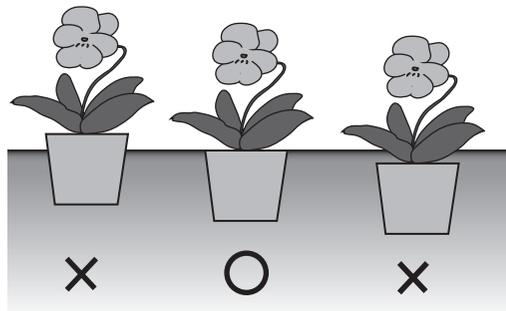
株と株の間は 20cmくらい あけます。
(理想的な株間)



植えつける場所に、黒いポットより ひとまわり大きな 植穴を開け黒いポットを そっと はずし あまり深植えにしないように植えつけます。

深植すぎると腐ります。
浅すぎると乾燥で枯れます。

植穴と苗の間に土を寄せるだけでなく花壇の土と、苗の土が密着するように苗の周りを軽く押さえます。

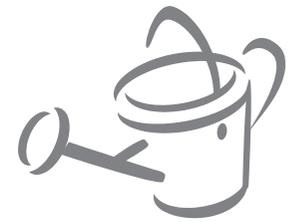


☆植え付け後の管理

水やり 植えつけたらたっぷり水を与えます。

蓮口を使って柔らかな水流で！

乾き気味に管理しましょう。
冬場はほとんど必要ありません。
自然の水やり(雨)に任せましょう。
あまり乾燥して葉が萎れるようであればたっぷり与えます。



花がらつみ 植物は開花後受精すると、種子を結んでその充実のために養分を使うようになり、花が少なくなります。朽ちた花びらが病気のもとになることもあるので、まめに摘み取りましょう。



ここから摘み取る

追 肥 生育が旺盛になって、葉の色が薄くなってきたころ(3月ころ)化成肥料を1㎡あたり50g施して、十分水を与える
(肥料の種類によって違います。袋の裏面をよく読んで)

理想的な株間で、花壇全体に植えつけると 苗は 不足します。全体に まばらに植えつけるより、ひとつひとつの色をかたまりとして植え付け、それぞれの色の間を広めに取るなど工夫しましょう。

☆種を直播きしてみましょう

ノースポール、菜の花、紫花菜、リナリア、忘れな草などパンジーを植え付けた花壇に直接、種をまいて 比較的簡単に育てる事ができます。
育て方は、種の袋に書かれています。
一度、チャレンジしてみてもは？

花創人Webページで詳しく 説明しています

[はなそうにん](#)

[検索](#)